

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 **新**ジャパンハウスロンドンを活用した県産品販売促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 海外展開係 電話番号：058-272-1111 (内 3118)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,600 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,600	0	0	0	0	0	0	0	11,600
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県を代表する伝統工芸品等を扱う地場産業については、消費者のライフスタイルの変化等により国内需要が減少しつつあり、海外展開による新たな需要を喚起・開拓・拡大を図ることが必須である。

(2) 事業内容

世界有数の流行・情報発信拠点であるイギリスにある、外務省の対外発信拠点「ジャパンハウスロンドン」において、県産品の販売促進に向けたプロモーションを実施し、アフターコロナにおける県内地場産業企業の海外販路拡大を支援する。イギリスをはじめ、欧米諸国における県産品の知名度向上、ブランド力強化及び海外販路開拓につなぐ。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内企業が1から海外販路開拓を行うのはハードルが高く、大型施設との連携はさらに困難を伴う。県が率先して販路開拓することにより、海外展開の経験が乏しく、貿易実務に疎い企業等が海外展開に積極的に取り組むための“呼び水”となることを狙うため、県事業として実施することが適当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,500	フェア運営、会場装飾、PR等委託
旅費	2,600	業務旅費
需用費	500	事務消耗品
合計	11,600	

決定額の考え方

展示会の詳細が確定しておらず、現時点では効果が不明確であることから計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ④「ぎふ」ブランドづくり
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - 6 戦略を推進するための基盤づくり (3) 販路拡大・海外展開
- ・岐阜県SDGs未来都市計画
 - 1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組
 - (1) 自治体SDGsの推進に資する取組
 - ②経済面：世界に誇る「ぎふブランド」の創造と発信

(2) 後年度の財政負担

世界有数の流行・情報発信拠点であるイギリスの大型施設にて行う岐阜県PRプロモーションであるため、フェアのみの一過性に終わらせるのではなく、現地における認知度やディストリビューター（流通事業者）等の獲得のため、事業終了後もトップセールス等の機会を捉え、継続的にフォローする必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

公的機関である県が率先して海外に販路を構築することにより、海外においても県産品の信頼度が高まり、海外と県内企業との継続的取引へと繋がる可能性が高くなる。また、県レベルの方が県内全域から県産品を紹介できるため、より幅広いニーズに対応が可能である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

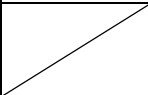
□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和3年度末までに、輸出事業所数を468事業者に増加させる（岐阜県統計課・岐阜県輸出関係調査）。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
輸出事業所数	- (H)		376 (H30)	468 (R3)	80%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

- ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）
○：必要性が高い、△：必要性が低い
- （評価）
○ 近年、経済のグローバル化・ボーダレス化に伴い、県内中小企業の国際化は産業政策上極めて重要な課題となっており、一層の支援強化が必要である。
- ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）
○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) ○	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>フェア開催後の実取引に進むには専門的な知識・ノウハウの習得や体制の構築等、組織能力の向上が求められるため、機会を提供しても、県内の中小企業が継続的な取引につなげることができるかが課題である。</p> <p>従い、経営資源の乏しい中小企業の対応力を強化・補完して海外展開が可能となるよう、能力構築支援とセットで一貫的に支援していくことの必要性の検討が課題である。</p> <p>また、海外でのプロモーション実施においては、現地との調整コスト（コミュニケーション等の手間・時間等）が多大となり、事業実施が非効率となるため、海外事業の実施にあたっては、相手国の事情も考慮して柔軟に対応できると望ましい。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>国内市場が縮小する中、県内企業の海外展開に対する支援ニーズが高まっている。今後も、県産品の海外市場開拓を促進するため、海外において県産品フェアを開催するなどの販路開拓に努めるとともに、経営資源の乏しい中小企業が、海外展開による収益を具体化するために必要な、組織能力（貿易知識・ノウハウ、外国語対応力のほか、戦略構築、事業計画策定等）の強化・補完。そのための、事業者にとって利便性の高いパッケージによる一貫支援の必要性を検討する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	